

創作オペレッタ「東氏ものがたり」の取組について

郡上市教育委員会 学校教育課

令和3年、千葉氏の一族・東氏の3代目東胤行が「承久の乱」の戦功により郡上郡山田庄(現・郡上市大和町他)を与えられてから800年を迎えました。また、同時に東氏11代目(郡上東氏9代目)東常縁から連歌師・宗祇へ「古今伝授」が行われて550年という年とも重なりました。(郡上東氏800年・古今伝授550年)

さらに現在、郡上市大和町では令和6年度の大和小学校開校に向けて、4つの小学校の統合準備が行われています。歴史の節目と新しい学校の創設が重なったこの時期に、「ふるさと学習 郡上学」として東氏の歴史と文化を総合的に学ぶことができる「創作オペレッタ東氏ものがたり」を企画しました。郡上市が地域一丸となって取り組んでいるこの活動について紹介します。

1 創作オペレッタ「東氏ものがたり」の紹介

(1) 創作オペレッタ「東氏ものがたり」とは

オペレッタとは、小さなオペラともよばれ、セリフと音楽(歌唱)で構成される音楽劇です。創作オペレッタ「東氏ものがたり」は、東氏の歴史をモチーフに、合唱・独唱・セリフによる会話・和歌の披講・音楽の演奏・映像を組み合わせた総合的な音楽劇として構成され、以下のような目標をもって取り組みを行っています。

- 東氏の歴史と文化を学び、ふるさとへの誇りと愛情を育てる
- 多様な表現活動を積み重ね、児童一人ひとりの表現力を高め、自分を豊かに表現できるようにする
- 和歌を詠むことで、言葉や歌のもつ力に気づき、言葉や歌を大切にしようとする心や態度を身につける
- 創作オペレッタを創り上げる過程で、統合する4小学校の子どもたちが助け合い、協力し合うことで互いの理解を深め、新しい学校での人間関係の基礎を築く

これらの目標達成をめざし、今年度より大和町の4つの小学校で本格的に取組がスタートしました。令和5年度秋に市民向けのオペレッタ公演を予定しています。

(2) 「オール郡上」で構成される実行委員会

令和3年8月に第1回実行委員会が開かれ、取組がスタートしました。実行委員会のメンバーは、脚本・演出・作曲・衣装・照明・音響・映像・広報にいたるまで、すべて地元の経験者等で構成され、まさに「オール郡上」の体制で取り組んでいます。今年度は7月に第2回実行委員会を開き、それぞれの担当者が作業の進捗状況を報告しました。会場には、作成中の衣装や甲冑が並べられ、音楽や映像も披露されました。来年度秋の公演までの見通しをもつと同時に、委員の方々が互いに刺激を受け合い、今後の活動意欲の向上につながりました。



【実行委員が衣装を紹介する様子】

2 学校での具体的な取組

(1) 総合的な学習の時間における「東氏学習」

総合的な学習の時間のカリキュラムを調整し、大和町の4つの小学校が共通で東氏について学ぶ指導計画を作成しました。大和町が短歌を大切にしている理由について調べる活動を通して、「和歌を大切にし、

平和な世をめざした東氏の存在と、「歴史をもとに和歌で町おこしをした人々」の存在について学習をしました。また、脚本を読み、セリフや和歌から登場人物の気持ちを想像する活動にも取り組んでいます。子どもたちは、東氏や地域の人々を誇りに感じ、学習したことが見ている人に伝わるようなオペレッタ公演にしたいという意欲をもつようになりました。

(2) 劇団「文学座」による表現力を学ぶワークショップ

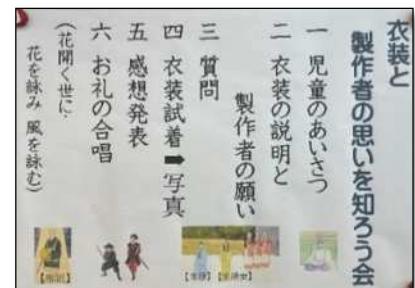
劇団「文学座」より富沢亜古氏を講師に招き、ワークショップを行いました。12月に行われた第2回では、仲間とコミュニケーションを図るゲームを通して、楽しみながら「目を見て伝え合うこと」「全員がその場に集中すること」の大切さについて学びました。ワークショップ後の子ども達からは、「学んだことをオペレッタにいかしたい」という感想も聞かれました。2月には第3回が行われます。このワークショップを通して、演じるために必要な「想像力」「対話力」「表現力」を身に付けていきます。



【文学座ワークショップの様子】

(3) 創作オペレッタを支える地域の方々との出会い

実行委員会の衣装・小道具担当の方々に製作中の衣装を見せていただいたり、実際に試着したりする体験を行いました。製作時の苦労や工夫、オペレッタに出演する地元の子どもたちに対する思いについても語っていただきました。子どもたちは衣装や甲冑を試着し、感想を発表したり製作者の方々に質問をしたりしました。活動の終わりには、現在練習中のオペレッタの合唱曲を披露し、感謝の気持ちを表しました。地域の方々の思いを知ること、オペレッタを成功させたいという意欲をさらに高めることができました。



【衣装と製作者の思いを知る会】



【衣装試着体験を行った大和北小学校5年生児童と衣装・小道具担当のみなさん】

3 今後の取組みに向けて

取組みを通して、児童は東氏の歴史を学び、創作オペレッタに携わる地域の方々の願いを知ることができました。実行委員の方々と交流することで、子どもたちと地域の方々との結びつきも強まり、地域とともに創り上げるオペレッタに近づいてきていると感じます。今後は、令和5年度秋の公演に向けて、大和の4小学校合同の合唱交流やキャスト練習をコーディネートしたり、文学座ワークショップ等を継続して子どもたちのさらなる表現力の育成に取り組んだりしていきます。

また、令和5年度秋の公演以降も取組みが持続可能なものとなるように、学校と実行委員会との役割分担を明確にしたり、協力体制を整えたりしていく必要もあります。創作オペレッタが令和6年度開校の大和小学校の伝統となるように、児童・教職員・保護者と地域が心と力を合わせて取り組み、未来へ引き継いでいきたいと考えています。